

# 阿武隈・ニツ箭山（ふたつやさん）

T野

2023年10月21日

メンバー： T野・K林・S口・T中m・T山・A原・S木



昨年の10月下旬、「東北一デンジャラスな登山道！！」のキャッチコピーに魅せられ、1泊2日で山形県の朝日連峰前衛にある摩耶山に登る計画を立てた。しかし、2日間とも悪天候に阻まれ、初日は鶴岡の加茂水族館でクラゲの生態を観察して、2日目は福島県の霊山に転進して紅葉のハイキングを楽しむこととなってしまった。それはそれで楽しかったが、メインで考えていた摩耶山はお目にかかることすら叶わなかった。

今回はそのリベンジ企画である。同じ時期に再び1泊2日で紅葉を求めて摩耶山に登る計画を立てた。しかし、今回も悪天予報でもろくも崩れ去った。土日とも強い寒気の影響で雨か、場合によっては雪が降るという予報である。去年と同様、2日間のうち、どちらか1日だけでも行動できれば良いというのに・・・。

- 写真上 登山口
- 写真中 沢コース最初の滝。
- 写真下 沢コースのナメを行く。



実に残念である。これで去年から換算して、4日間連続の悪天。全くひどいものだ。仕方なく、出発の前々日であつたが予約していた宿をキャンセル（良心的な宿で幸いなことにキャンセル料は取られなかった）。せっかく山形まで行ってもこの予報では何もできないので、より近場で寒気の影響が少なく、好天が期待できそうな場所に転進を考える。すると、福島県の羽鳥湖付近にリーズナブルで食事の評価が高い宿をmさんが探してくれたので即予約してもらおう。さすが旅女！！仕事が早い。

宿の確保できたので、初日は、太平



洋側でより寒気の影響を受けにくい阿武隈山地の岩山、二ツ箭山に、そして、翌日には紅葉期待で寒気が収まりそうな南会津の二岐山への転進を考えた。全く、いつもながらのドタバタだが、メンバーの反対もなく、スムーズに事が進み、出発の運びとなった。

10/20の夜、T野車とS木車に便乗して出発。常磐道の友部SAで合流し、今晚の仮眠場所を探すが、なかなか良さげな場所はなく、結局、いわきの「道の駅 よつくら港」の軒下を借りることにする。ここは静かで暗くてまずまず快適だった。

10/21は6時起床、ゆっくり準備し、コンビニで朝食、買い出し後、国道399号沿いにある二ツ箭山の登山口へ。整備された駐車場がありトイレもある。そろそろ紅葉シーズンという割には、ひっそりとしていて、関東近辺の人気の山

と違って好ましい雰囲気である。

7:35 登山口を出発。車道を少し歩いて道標に導かれて登山道に入る。しばらく歩くと「尾根コース」と「沢コース」に分かれるが、ここは景観が良くて変化に富んだ「沢コース」を選択。時折、小滝やナメもあって飽きずに登れる好ルートだ。この辺り、まだ紅葉には早いですが、広葉樹が多いので11月上旬ごろに訪れればきっと見事な紅葉が楽しめそうだ。「沢コース」を堪能した後、男体山に登るため右岸に登る登山道をひと登りして尾根コースに合流すると、雑木林の痩せ尾根となる。やがて「巻き道」と「鎖ルート」が分岐、もちろんここは「鎖ルート」を選択。太い固定ロープと鎖が下がった30m位の岩場を登る。ここは鎖やロープを触らないで登るのが楽しい。まだまだウォーミングアップだ。



2023/10/21 09:19



- 写真上 30mの鎖場
- 写真中 今日の核心、男体山の鎖場に取付く！！
- 写真下 眼下は紅葉！！



登りきると男体山の岩場の基部である。この辺りはクライミングのゲレンデになっているようで、あちこちにボルトが打ってあるが傾斜が強くなり難しそう。我々の出る幕ではない。岩場を右に回り込むと男体山に登る鎖場が現れる。今回のルートのコア部である。傾斜は急だが手掛かりは豊富にあるので、ここも鎖に頼らずに登るのが楽しい。フリーで登れば2級位はありそうだ。グイグイ登れて気持ちがいい。登り切れば男体山山頂！！高度感満点の山頂らしい山頂だ。女体山の岩場の灌木が早くも色づいていていい感じである。ここで大休止。

さて、下りは登りより難しいので慎重に降りて、今度は女体山に向けて鎖場を登る。こちらは男体山よりも穏やかだ。女体山から見る男体山は立派な岩峰でなかなかの勇姿である。女体山の下りも鎖場は続くが、ここを下り切れば、もう後は普通の山道となり、最高峰の、二ツ箭山に向かう。二ツ箭山の山頂は樹林に覆われた地味な山頂だが、広くて風が防げるので休憩するには良いところだ。

■写真上 男体山より紅葉の女体山を望む。

■写真中 男体山山頂にて。

■写真下 遠くにはいわきの海が見える！！

帰路は尾根を降りていき、少し登り返せば最後のピーク月山。男体山と女体山の岩峰が間近に望むことができる。ここから沢コースに



向けて急降下して、沢に下りれば往路を辿って登山口まではすぐであった。

実は、二ツ箭山は、2019年に一度訪れていて今回は2度目だが、コンパクトでピリリと辛いなかなか楽しい山である。あまり知られてはいないが、鎖場が好きな人には手軽でお薦めの山だ。今回もメンバー7名でワイワイガヤガヤ楽しく登って、転進の割には良い休日過ごすことができた。僕はこういう和気あいあいとした雰囲気登るハイキングも大好きだ。

さて、今日はこの後、料理自慢の宿に泊まる。実に楽しみだ。銀座ではあまりないが、たまにはこういう贅沢も良いものである。羽鳥湖付近にある「ペンションプルミエール」に宿泊。その場で焼いて食べるヤマメの塩焼きに馬刺し、牛ステーキ、芋煮などを堪能！！日本酒も美味しく僕はあっという間に気持ちよく沈没。爆睡した。



■写真上 女体山山頂の女体盛り！！

■写真中 森に囲まれた二ツ箭山山頂。

■写真下 最後のピーク、月山にて。



■コースタイム

登山口 (7:35) ~ (8:19)

尾根取付き (8:25) ~

(9:20) 男体山 (9:43) ~

(9:57) 女体山 (10:05)

~ (10:13) 二ツ箭山

(10:30) ~ (10:50) 月山

(10:55) ~ (11:51) 登山口



10/22

二岐山を目指すも登山口で雨！！全員一致で登山は中止、天気の良い那珂湊のお魚市場のグルメを今日の目的とする。だが、那珂湊はひたち海浜公園に隣接していて、ここのコキアが紅葉の最盛期ということで、どこもかしこも信じられない大渋滞！！

裏道に次ぐ裏道を辿り、最後は路上駐車して、何とかお魚市場に潜り込む。海鮮丼は旨かった。さらにここのお薦めはハマグリ。今回もお土産に購入して帰京。自宅で食べた焼きハマグリと吸い物は最高に美味



しかった。

と、まあ、転進に次ぐ転進であったが、楽しい週末を楽しむことができた。これに懲りずに3年目のリベンジ！！来年も摩耶山の計画を立てるので、今度こそ実現させましょう！！また付き合ってくださいね！！ではでは。

■写真 後半はグルメ旅！！